

【北海道庁から】北海道地域おこし協力隊メールマガジン

北海道 総合政策部 地域創生局 官民連携推進局



北海道の地域おこし協力隊の方々にお届けする



メールマガジン♪



研修会やイベントの開催情報



全道各地で活躍する地域おこし協力隊の活動状況、



定住・起業の支援情報などを発信します。

\*\*\*\*\*

■目次

【1】西塔さん連載企画！～第19回「僕らに必要な学びとは？」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）

【2】「とち地域おこし協力隊ネットワーク（TCN）」活動状況報告

【3】「留萌管内地域おこし協力隊ネットワーク」活動状況報告

【4】【日本政策金融公庫】11月開催セミナー&全国創業事例集のお知らせ

【5】【北海道庁DX推進課】イベントのご案内

【6】【北洋銀行】11月開催セミナーのお知らせ

【7】【北海道農政事務所】食に関する事例募集結果についてお知らせ

\*\*\*\*\*

【1】西塔さん連載企画！～第19回「僕らに必要な学びとは？」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）

今回のテーマは「僕らに必要な学びとは？」です。

西塔さんからイベントのお知らせもあります！

■僕らに必要な学びとは？

地域おこし協力隊になると、さまざまな研修の機会があります

初任者研修や起業研修など、みなさんは参加されたでしょうか？

私も協力隊として、いろんな研修に参加してきましたが当時の研修は、正直、いまひとつでした。

「もっと自分の地域活動や仕事づくりに直結する、継続的な学びはないかな？」

「オンラインでも仲間を作れるような講座はないだろうか？」

と、あれこれ探していた時に、さとのば大学（旧 地域共創カレッジ）と出会い、受講しました。

現役で活躍する地域おこし実践者が講師なので、自分自身が現場でぶつかっている課題について、めっちゃくちゃ有益な気づきをもらうことができました。また、受講生は協力隊だけではなく、地域コーディネーターや学生、都市部の社会人もいるため、視野も広がります。週2～3回×半年間の講座なので、本気で学びたい人向け。

実は、受講後にご縁があって講師として、このさとのば大学に関わっており、

来年度から本格的に、地域おこし協力隊向けとして「マイフィールドコース」を準備することになりました。

なかなかリアル研修に参加することが難しい北海道の協力隊の皆さんにとっても、仲間を作り、学べる機会をご提供できればと思っています！

茨城県では、県全域で地域コーディネーター育成プログラムとして採用されていた実績のある講座で、もちろん協力隊活動費での受講が可能です。

興味のある方は、まず無料イベントにご参加ください！  
「地域おこし協力隊のための“学び”ってなんだろう？」  
2023年11月2日（木） 19:30～21:00  
詳細 <https://onl.tw/zsHCDKy>

さとのば大学「マイフィールドコース」資料請求  
<https://satonova.org/my-field>

#### ■西塔大海（さいとうもとみ）

合作株式会社取締役 さとのば大学講師

1984年山形県生まれ。2013年、福岡県上毛町に移住し地域おこし協力隊として活動。その後、地域おこし協力隊の支援・制度設計の専門家として、全道各地の自治体で導入・活動・起業の支援に携わる。

また、各地域での移住促進・空き家活用・人材育成などの地域プロジェクトマネージャーの経験を活かし、提言やアドバイザーを努めている。

○さとのば大学 <https://satonova.org/prospective/>

○西塔さん Facebook <https://www.facebook.com/saito.motomi>

## 【2】「とち地域おこし協力隊ネットワーク（TCN）」活動状況報告

とち地域おこし協力隊ネットワークの齊藤さん（新得町地域おこし協力隊）より、ネットワークの活動状況についてお知らせです！

地域おこし協力隊キャラバン式ツアーin 新得「チーズ工房見学ツアー at 共働学舎新得農場 ー 十勝の食文化を学ぶー

10/7（土）第三回キャラバン式ツアーを行いました。

参加者は十勝管内から7名、管外から3名の10名でのツアーとなりました。  
当日は天気も良く最高のイベント日和になりました。

第三回となる今回は共働学舎新得農場（以下共働学舎）でナチュラルチーズの製造工程の見学会並びに十勝のナチュラルチーズの先駆者でもある代表の宮嶋望さんからチーズ文化について学び、十勝の食文化について理解を深めることを目的としました。  
十勝の代表的なチーズといえば「ラクレットチーズ」であり、先日農林水産省の地理的表示（GI）保護制度に登録されたことを受け全国的に注目を集めています。

TCN主催のキャラバン式ツアーでは、十勝管内の協力隊が企画する催事に管内他市町村の協力隊が参加し、そこでの体験を通して地域課題の解決や連携可能性の模索に向けたディスカッションを協力隊間で深めることを主たる目的としています

午前中はチーズ工房内で見学を行い、普段では見ることができない製造工程や熟成方法などについて学びながらチーズ職人と交流をしました。

お昼ごはんは午前中に見学した製造過程を経たラクレットチーズを中心に様々なチーズやお料理をいただきました。  
協力隊同士での交流を図る時間となり、有意義なランチとなりました。

午後は共働学舎の代表である、宮嶋望さんとトークセッションを行いました。  
トークの中ではチーズ作りに関するだけでなく、十勝の土壤環境や十勝の風土についてのお話を聞くことができ、様々なアプローチで十勝の食文化について学ぶことができました。

また、共働学舎は社会に適応することが難しい方々がチーズ作りを軸として野菜作りや工芸品作りを行いながら約60名のメンバーが衣食住を共にしています。

今回開催して十勝という地域は全国的に見ても稀有な食文化があると感じました。この文化は大きな魅力であると感じています。

今後もツアーなどを通して様々な地域や文化に触れていくことができればと思います。  
今回参加くださった皆様に感謝申し上げます。

【お問い合わせ先】

▼部署：とちかち地域おこし協力隊ネットワーク事務局

▼担当者：齊藤 涼

**【3】「留萌管内地域おこし協力隊ネットワーク」活動状況報告**

留萌管内地域おこし協力隊ネットワーク事務局長の佐伯さん（留萌市地域おこし協力隊）より、ネットワークの活動状況のご報告です！

「オロロンキャラバン」無事終了いたしました！

10/14.15（土日）に開催しました、留萌管内地域おこし協力隊ネットワーク・留萌振興局共催の「オロロンキャラバン」が無事終了いたしました。  
留萌管内・道内各地合わせて22名の方にご参加いただき、留萌市～天塩町をバスで巡りながら管内協力隊の活動に触れてもらうほか、特産品を活用したピザレクなどを実施し、地域魅力の発信・道内協力隊の交流を行うことができました。

天候にも恵まれ、日本海に沈む美しい夕陽を見ていただくことができたり、バス内のレクでは参加した皆様の活動やリアルな声を聞けたり、終始楽しい雰囲気キャラバンとなりました。

私自身も同ネットワークメンバーのリアルな活動に初めて触れたり、「もっと施設の見学がしたかった」「短く感じた」などのご意見を頂いたり、見慣れた地域の魅力・可能性を再認識する素晴らしい機会となった、あつという間の2日間でした。

様々な場面で他地域からご参加いただいた皆様のお力をお借りする場面も多く、申し訳ないと思う反面、ぐっと距離の近い交流ができたと感じました。ご参加いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

今後も様々な形で管内や全道域の連携・交流の形を模索していきたいと思います。改めまして、ご参加いただきました皆様・お力を貸してくださいました皆様、本当にありがとうございました。

次は11月の全道研修会でお会いしましょう！

【お問い合わせ先】

▼担当者：留協ネ事務局長 佐伯 結（さえき ゆい）

▼電話：090-8373-8043

▼Email：yuisaeki1211@gmail.com

#### **【4】【日本政策金融公庫】11月開催セミナー&全国創業事例集のお知らせ**

日本政策金融公庫創業支援センターよりセミナー開催のお知らせです！

(1) 「第12回 女性・若者向け創業相談ウィーク」を開催

創業に興味がある女性や若者の皆さま、創業を検討されている方を対象にした創業セミナーや相談会を開催します。

北海道内では、11月7日(火)の苫小牧を皮切りに、9地区で全12回のイベントを開催しますので、ご興味のある方は、是非、ご参加ください。

■開催スケジュール：11月7日～12月15日

■開催方法：対面またはハイブリッド(各回によって異なります)

■参加費：無料

■申込方法：下記HPより申込(情報は、順次更新してまいります)

HP：<https://sougyou-soudan-week-2023.jp/#area1>

(2) 【10月更新】「story—全国創業事例集—」

創業を志す方への参考資料として、先輩创业者の事例を紹介しています。業種ごと、地域ごと、年齢ごと、テーマごとに絞り込んで検索することもできます。10月に新たな事例を追加しました。

現在、176件の事例が掲載されており、北海道内の事例も11件あります。創業に関心のある方のご参考になれば幸いです。

HP：<https://www.jfc.go.jp/n/finance/sougyou/case/>

【お問い合わせ先】

▼担当者：日本政策金融公庫北海道創業支援センター 小塚 友平

▼電話：011-231-9260

#### **【5】【北海道庁DX推進課】イベントのご案内**

北海道庁DX推進課とNTT東日本が主催のデジタル活用に関するイベントのご案内です。

(北海道ミライづくりフォーラム2023開催)のお知らせ  
ほっかいどうのミライをつくるための技術と人を集結！

道とNTT東日本は、北海道 Society5.0の実現に向けたデジタル活用の機運醸成と各地域における具体的な取組の推進を目的に「北海道ミライづくりフォーラム」を開催します。

自治体や民間企業が取り組む数々の事例紹介やデジタル技術の展示、自治体DXやドローン、教育分野でのデジタル活用をテーマにしたセミナーやディスカッションなど、自治体DXのヒントがすべて詰まったイベントです。是非ご来場ください！

<イベントURL>

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/df/157203.html>

【イベント概要】

▼日時：令和5年11月2日(木) 10:00-17:15

▼場所：ロイトン札幌(札幌市中央区北1条西1丁目1番地1)

▼プログラム：

A M) 基調講演：北海道大学 川村教授「人工知能の未来 ChatGPT を超えて」

P M) 自治体DX会議（自治体の事例発表、パネルディスカッション）

教育ICTフォーラム（ガイダンス、特別講演、事例発表等）

ドローンフォーラム（先進事例発表、パネルディスカッション等）

ミートアップイベント（名刺交換、個別相談）

終日) 自治体DX展示（働き方改革、一次産業、防災、観光、教育、ドローン等）

ドローン体験コーナー（ドローン操縦体験、ドローンサッカー）

▼申込締切日：令和5年11月1日（水）

▼お申し込み先：（LGWAN）<https://cloud.harp.asp.lgwan.jp/id=newKzpn>

（一般）<https://www.harp.lg.jp/VWW1QXgl>

【お問い合わせ先】

▼担当者・部署：黒澤（北海道DX推進課）

▼電話：011-204-5172

▼Email：[kurosawa.atsushi1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:kurosawa.atsushi1@pref.hokkaido.lg.jp)

【6】【北洋銀行】11月開催セミナーのお知らせ

北洋銀行よりお知らせです！

先日の ATWS（アドベンチャーツーリズムワールドサミット）北海道開催や、インバウンド観光客の回復を受け、あらためてサステナブルな観光が注目されています。

そこで、11月1日(水)13時30分から当協会・札幌市・北洋銀行の共催で、観光関連企業向け『「SDGs」への取組サポート』セミナーを開催することとなりました。

過去に行った同様セミナーの第3弾となり、より実践に即したSDGsの取組事例、現在のトレンド情報や支援情報など有益な情報提供を行えればと考えております。

詳細、申込みは以下リンクよりお願い致します。

[https://association.sapporo.travel/news/post/sta\\_seminar-8/](https://association.sapporo.travel/news/post/sta_seminar-8/)

参加無料ですのでお時間ありましたら、是非ご参加いただければ幸いです。

皆様のお申込みお待ちしております。

【7】【北海道農政事務所】食に関する事例募集結果についてお知らせ

北海道農政事務所よりお知らせです！

「農林水産省では海外での日本産農林水産物・食品の需要拡大のため、多様な食体験の提供と輸出拡大の一体的な取組を表彰する食かけるプライズ2023を実施しており、北海道の体験事例がネクストブレイク賞を受賞しました」

【受賞者】Son&Heir 株式会社（鷹栖蒸溜所）

【体験場所】上川郡鷹栖町

【体験事例】日本最北のジン専門蒸溜所「鷹栖蒸溜所」で、北海道の美しい景色と北海道産原材料を使用したジンをベースとしたカクテルを楽しめる。また、植物由来の香り付けのレシピを客自身でカスタマイズし蒸溜した、オリジナルのジン作りを体験できる。

※ネクストブレイク賞とは、応募時点で商品化されていない体験事例を対象とした賞です。

<お願い>

北海道地域おこし協力隊メールマガジンでは、市町村、地域おこし協力隊など関係者の皆さんからの掲載記事を募集しています。

道内で活動中の皆さんの取組紹介でも構いません。他地域の皆さんの取組が情報共有、また様々な連携に繋がっていくものと考えていますので、メールマガジンの積極的な活用をお願いします。掲載を希望される方は、chiiki.okoshi@pref.hokkaido.lg.jp までご連絡ください。

「「「

- ◆発行 北海道 総合政策部 官民連携推進局  
地域おこし協力隊サポート推進室
- ◆住所 〒060-8588 札幌市中央区北 3 条西 6 丁目
- ◆電話 011-204-5791 (直通)
- ◆御意見・お問い合わせ (当メールマガジンに関する事)  
[chiiki.okoshi@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:chiiki.okoshi@pref.hokkaido.lg.jp)
- ◆登録変更、中止、バックナンバーはこちらから  
<http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/>
- ◆北海道地域おこし協力隊ホームページ  
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/68404.htm>
- ◆このメールマガジンに掲載された記事の無断転載を禁じます。
- ◆このメールマガジンは等幅フォントで見ることをおすすめします。

「「